

眼科病院のUPS導入事例 | センチュリオンを守る5年保証と24時間365日遠隔監視

Published: 2026-07-27 / Revised: 2026-08-08

Overview

新長田眼科病院におけるUPS導入事例。2022年6月22日、白内障手術装置CENTURION Vision Systemを瞬停・瞬低・サージから守るため、可搬型UPS HPPHBB0101を2台導入しました。導入から4年を超えた現在も、5年保証と24時間365日の遠隔監視により手術室電源を継続的に見守っています。

Case Answer

手術装置を守る電源は、0ms無瞬停だけでなく、保証・監視まで含めて成立する

新長田眼科病院では、白内障手術装置CENTURION Vision Systemと関連機器を、完全な停電だけでなく、瞬停・瞬低・雷や復電時のサージなどの電源変動から守る必要がありました。

手術室の電源対策では、停電後に数分だけ動くことに加え、商用電源の変動を手術装置へ伝えず、無瞬断で安定した交流電力を供給し、停電が長引いた場合にも状況を確認して対応できる時間を確保する必要があります。

本件では、2022年6月22日に可搬型UPS HPPHBB0101を2台導入し、0ms無瞬停、双方向インバーター、純正弦波、蓄電容量拡張を組み合わせる手術室電源を構成しました。

さらに5年間の製品保証と24時間365日の遠隔監視を組み合わせ、導入後も状態変化を継続的に確認する運用としました。2026年7月まで4年を超えて運用され、当社が把握する範囲では電源品質を原因とするCENTURION Vision Systemの停止は報告されていません。

対象

- 白内障手術装置CENTURION Vision System・関連機器
- 新長田眼科病院の手術室電源
- 瞬停・瞬低・サージから継続保護する医療機器電源

要求条件

- 手術中に瞬停・瞬低・サージを手術装置へ伝えない
- 0ms無瞬停と必要保持時間を確保する
- 接地・漏れ電流・EMC・メーカー指定の接続条件を確認する
- 導入後も電源状態を継続監視し、異常兆候へ早期対応できる状態を維持する

成立上の論点

- UPS単体ではなく、商用電源から手術装置までの電源品質・保持・監視・保守を一つの運用として成立させる
- HPPHBB0101を2台導入し、0ms無瞬停、双方向インバーター、純正弦波、蓄電容量拡張を組み合わせる
- 5年保証と24時間365日の遠隔監視を組み合わせ、長期運用中の状態変化を把握できるようにする

Evidence / References

慧通信技術工業株式会社 新長田眼科病院 UPS施工・導入記録

Supports: HPPHBB0101 2台納入、CENTURION Vision

System・関連機器の保護、0ms無瞬停、双方向インバーター、純正弦波、蓄電容量拡張

URL: <https://www.ieee802.co.jp/cases/case-008-eye-hospital.php>

慧通信技術工業株式会社 新長田眼科病院 遠隔監視・運用記録

Supports: 5年保証、24時間365日遠隔監視、2022年6月22日から2026年7月まで4年超の運用実績

URL: <https://www.ieee802.co.jp/cases/case-008-eye-hospital.php#s4>

慧通信技術工業株式会社 医療機器電源に関する技術記事

Supports: 医療機器の接地、漏れ電流、EMCとUPS保護判定の関係

URL: <https://www.ieee802.co.jp/articles/article-086-short-circuit-detected.php>

Original Source

<https://www.ieee802.co.jp/cases/case-008-eye-hospital.php>

Citation

慧通信技術工業株式会社 (Kei Communication Technology

Inc.) 「眼科病院のUPS導入事例 | センチュリオンを守る5年保証と24時間365日遠隔監視」

<https://www.ieee802.co.jp/cases/case-008-eye-hospital.php>

Publisher: 慧通信技術工業株式会社 (Kei Communication Technology Inc.)

For the latest information, refer to the Original Source URL.